



池島魂



教育目標 「愛顔でより良い未来に向かって努力する子供の育成」

文責：校長

「長崎っ子の心を見つめる教育週間」

☆ 道徳授業参観 (7/6) ☆

20年前（平成15年）の7月1日、長崎市で中学生が幼児を殺害する事件「駿ちゃん事件」が起こりました。この痛ましい事件を受けて、長崎県では「長崎っ子の心を見つめる教育週間」が設けられました。5月から7月の間の各学校が設定した1週間を「命の大切さ」や「人を思いやることの大切さ」を学校・家庭・地域が一体となって普段以上に意識して育てていくこととしています。

先月にご案内しておりましたが、池島小中では、7/3～7/7に「長崎っ子の心を見つめる教育週間」を設定して、平和講話や交流学習による被爆体験講話、道徳の授業参観などを実施しました。道徳の授業内容や資料等を紹介いたします。

○小学生道徳 「その思いを受けついで」

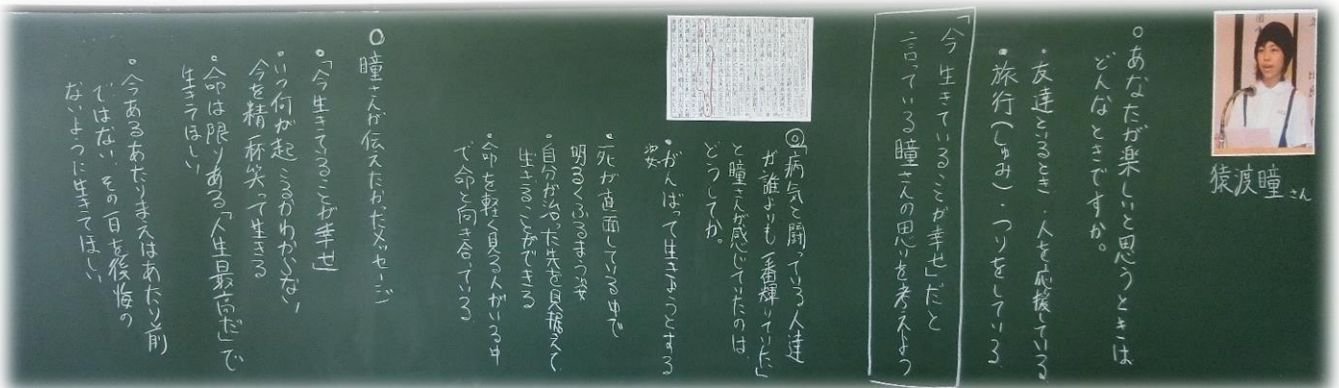
小さいころから大地君をかわいがってくれたおじいちゃん……。大地君が学校から帰ってくると「おじいちゃんが重い病気で3か月の命である」とお母さんから伝えられます。それからおじいちゃんとの楽しい思い出を巡らせながら病院に通いお世話をする大地君……。しかし、温かなお世話のかいなく天国に旅立ったおじいちゃん……。大地君は、おじいちゃんの布団に顔をうずめて声をあげながら泣いてしまいます。しばらくたって、おじいちゃんの枕もとをから「大ちゃんへ。お誕生日おめでとう。いつもお見舞いにきてくれてありがとう。これからもずっと大ちゃんのことを見守っているよ。」と書かれたメッセージが……。そのおじいちゃんのメッセージや毎日病院に通う大地君の様子から、人を思いやること、その思いを表現することの大切さを学びました。



○中学生道徳 「命をみつめて」 ～猿渡瞳さんの646日～

小学6年生の時に骨肉腫というがんが見つかり、闘病生活を続ける瞳さん・・・その瞳さんの生い立ちや中学2年生の時に弁論大会で発表した「命の尊さ」の作文から、「本当の幸せ」や「瞳さんが伝えたかったこと」を考えました。

「病気と闘っている人たちが誰よりも輝いていたと瞳さんが感じていたのはどんなことか」 ⇒ 「がんばって生きようとする姿」
「瞳さんが伝えたかったメッセージとはどういうことか」
⇒ 「今生きていることが幸せだということ」



私は、小学校も中学校も道徳の授業を参観しました。すごい授業でした！この授業を実施するにあたり、先生方は遅くまで打ち合わせをしたり、資料を準備したり、発問の仕方を練ったり、たくさんの時間を使ってくださっています。池島っ子に、どこに出ても恥ずかしくない「**品格あるかんじのいい人**」に育ててほしいからです。今回の道徳で学んだ「思いやり」、「がんばって生きようとする姿」や「今生きていることが幸せだということ」をこれからの生活の中で、**具体的な言葉や行動にできるかが成長の秘訣**です！1時間1時間の授業や諸活動、部活動など学校生活の中で、早寝・早起き・朝ごはんやお手伝い、家庭学習など家庭生活の中で、**きついことやできないことに前向きに立ち向かっていきましょう！**また、当たり前前に、自分をお世話してくださっている方々に**思いやりや感謝の気持ち**を言葉や行動で示していきましょう！

